かもめ便り

一般社団法人 日本産業カウンセラー協会 神奈川支部報

9
2025

会員満足度向上を目指し、
時代に適合した事業を展開します！

―第 20 回神奈川支部総会　開催―

JAICO® 一般社団法人 日本産業カウンセラー協会 神奈川支部

聴かせてください、心の声。咲かせてください、あなたらしさ。

会員満足度向上を目指し、時代に適合した事業を展開します！

2025年6月1日（日）14:45より横浜市社会福祉センターで、第20回神奈川支部総会が開催されました。会場出席者75名、WEB委任通知提出者936名、合計1011名の参加をいただきました。

支部長からの開催宣言

冒頭、桐谷支部長より第20回神奈川支部総会の開催を宣言し、参加いただいた会員へ御礼を申し上げました。

来賓ご挨拶（田中節子会長）
―神奈川支部は協会全体の黒字化に大きく貢献―

田中節子会長のご挨拶

神奈川支部は2024年度、会員サービス向上と満足度向上に努め、全国13支部中トップとなる2300万円の経常増を達成しました。この成果は支部の皆様の熱意と努力の賜物であり、協会全体も6年ぶりの黒字となりました。

このような努力と発展の流れを広げていくべく、全国各地を歩くことで産業カウンセラーをPRするイベントとして「日本縦断つなごうJAICOの絆」が4月から開始され、11月23日の産業カウンセラーの日に本部でゴールを迎えます。また、11月22日には「進化する産業カウンセラー」をテーマに第54回全国研究大会が開催され、認知行動療法の第一人者・大野豊先生の講演が予定されています。

厳しい経済状況が続いておりますが、産業カウンセラーの未来を作るのは、私たちのあり方、行動だと思っております。産業カウンセラーが魅力的であることで、多くの人々が幸せを感じ、この分野に憧れを抱き、関心を持つようになります。産業カウンセラーを日本の社会基盤の一部として確立し、その影響力を広げることが協会の未来の姿です。

最後になりましたが、神奈川支部の更なるご発展と会員の皆様のご活躍を心より祈念いたします。

第1号議案
（1）2024年度事業報告および決算の件
（2）2025年度事業計画の件を報告

総会議長として桐谷支部長が選任され総会がスタートしました。

支部総会では昨年同様、パワーポイントによる要点を表示し、支部全体と各事業部の活動・方針をご理解いただきたく、幹部全員で説明しました。

（1）2024年度事業報告および決算の件

桐谷支部長および倉地総務部長が神奈川支部総会議案書に基づき説明しました。支部長からは2024年度の事業報告、各部のポイントなど年表をもとに説明しました。総務部長が財務諸表について説明し、堂田監事より監査報告がなされました。なお各事業部・委員会の2024年度事業報告、2025年度事業計画については、各部長・委員長が発表しました。

（2）2025年度事業計画の件

桐谷支部長が支部総会議案書に基づき2025年の事業計画及び予算について説明がしました。本年度は、時代に適合した事業の展開、会員の活動領域の拡大、地域社会への貢献、管理体制の整備、会員サービスの向上の5つを事業目標としていきたいとの方針が支部長から示されました。

第2号議案（1）2025年度及び2026年度運営協議員、運営幹部及び支部監事選任の件を審議

第1号議案、第2号議案についての質疑応答

質問　粟竹氏

1点目は、総会議案書3ページの下にある会員数の推移表において、2024年度実績として前年比170名と大幅に増加しているが、その理由について教えて欲しい。

2点目は、総会議案書3ページにある経常収支推移表の経常外費用について、2025年度計画はゼロとなっているが、これは予算であるからゼロなのか、見込みが無いからゼロなのかを教えて欲しい。

退任幹部の皆さん

回答　桐谷支部長

支部として会員数増加の理由について把握できていない。

回答　石田事務局長

受講者が養成講座やキャリアコンサルタント養成講習に申し込む際に、事務局や講師が会員割引を利用できることを説明して加入を促進していることも増加の一因としてあるのではないかと思う。

回答　倉地総務部長

経常外費用については実績ベースで計上しているため、予算としては計上していない。また、今年度は本部から支給される組織強化費が無くなったことから経常外費用は発生しないと見込んでいる。

質問　池田氏

支部別に本部費用を負担していると思うが、神奈川支部として具体的にどのくらいの本部費用を負担しているのか教えて欲しい。また、先ほど今年度は組織強化費が無くなったことから700万の利益になるとの説明があったが、その利益で本来負担すべき本部費用が賄えるのかを教えて欲しい。

回答　桐谷支部長

今年度から本部として組織強化費の負担が無くなったことと、支部で実施する養成講座やキャリアコンサルタント養成講習において一定の金額を本部に戻していることから、厳密に計算した訳ではないものの神奈川支部としては700万から1000万程度の利益を出すことで本部費用を賄えるものと考えている。

質問　水橋氏

1点目は、今回支部長と運営幹部が交代するにあたり、コロナ禍の大変な時期において神奈川支部をこれだけ大きくなるように引っ張ってくれた支部長及び幹部の方にお礼を申し上げたい。

2点目は、支部の会員の参加意識の向上や活動の場を広げていくことが大事だと思っているので、例えば昨年度入会された新会員を集めるとか、講座修了者3年目の会を行うとか、講座スタッフの方の集い等を実施していただきたい。会員間のコミュニケーションを深めることが、今後5年後、10年後の会員定着につながると思う。新幹部の方も、会員間のコミュニケーションを深めることに注力して欲しい。

新幹部の皆さん

回答　桐谷支部長

貴重なご意見に感謝するとともに、新幹部の方にもご指摘の点については注力していってもらいたい。

質疑応答が終了し、審議事項である2025年度及び2026年度運営協議員、運営幹部及び支部監事選任についての採決を行い賛成多数で可決されました。議事がすべて終了後、議長退任があり、第20回神奈川支部総会は終了しました。

●会員懇親会を今年も開催●

支部総会終了後、場所を桜木町駅前ワシントンホテルのダイニング&バーBAYSIDEに移し、田中会長にもご参加いただいて総勢58名の皆さまが集まりました。

冒頭では、新たに就任された山王支部長のご挨拶があり、参加者同士が笑顔で交流する、和やかな雰囲気の中で始まりました。

楽しみにしていた食事の時間では、彩り豊かな料理を囲みつつ、参加者同士の会話も一層弾みました。

恒例のビンゴ大会では笑い声が絶えず、景品を巡ってのドキドキの展開に皆さん大盛り上がり！会場全体が一体感に包まれ、楽しい時間があっという間に過ぎていきました。

今回の懇親会は、普段なかなか顔を合わせることができないメンバー同士がつながる貴重な機会となりました。たくさんの笑顔と温かな交流が生まれ、改めて絆の大切さを感じる時間でした。

特別講演会

今の時代だからこそ『ほんものの傾聴』を改めて学ぶ

～産業カウンセラーの更なる成長に向かって～

講師：諸富　祥彦　先生（明治大学文学部教授）

神奈川支部総会に先立ち、13 時より同じ会場の横浜市社会福祉センター 4 階ホールで特別講演会を開催しました。今回は、明治大学文学部教授の諸富祥彦先生に、「ほんものの傾聴」を改めて学ぶというテーマでお話しいただきました。

講演要旨

カウンセラー業の危機と AI の台頭

カウンセラー業は今までの中で一番ピンチになっている。特に、ChatGPT などの AI によるカウンセリングが入ってきた影響による危機感を感じている。浅い悩みや、ただ話を聞いてほしいというニーズに対しては、AI が十分に対応できるようになってきており、従来の「普通の傾聴」では AI で事足りてしまう。

認知行動療法の分野では、AI が人間と変わらない成果を出せる場合、それは「良い認知行動療法」と評価され、AI に取って代わられるかもしれない。

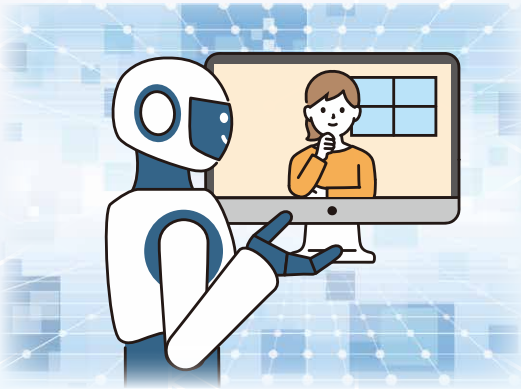
ロジャーズ派のカウンセラーから見ると、初回や 2 回目の面接は AI でも十分対応可能であり、むしろ安全で有効とされる。これらの段階では、寄り添う傾聴が中心であり、誰が行っても大きな差が出ないため、AI に取って代わられるのではないかと思っている。

カウンセラーが生き残るための鍵

AI は言葉になっていないと情報としてインプットされないため、AI には「沈黙」はできない。カウンセリングで、まだ言葉になっていない状態にとどまる時、一番やることは「沈黙」である。ここがカウンセラーとしての勝負どころである。

人生で一番大切なのは、人と人との深いつながりである。人はこのつながりに依存しないと生きていけないものである。この温もり感を AI で埋めることはできない。

カウンセラーはクライアントと面と向かい合う関係ではなく、隣に座ってクライアントの心の窓から一緒に同じ景色を見るのがカウンセリングである。



カウンセリングの原点は「セルフサポート」

カウンセリングの原点は「セルフサポート」であり、人生で一番辛かった時を思い出し、その時の感覚を忘れずにカウンセリングを行うのが大事である。日常生活の中で困っている人に声をかけ、リレーションを作って質問していくことがとても大事なことだと思っている。

また、長寿の秘訣も人と人とのつながりにある。孤独が寿命を縮めると言われており、異性の友人がいることが長寿に直結するというデータもある。カウンセリングを勉強することで、自分自身の生きる力にもつながっているのではないかと思う。だからカウンセリングの勉強は一生やめない方がいい。

構成的グループエンカウンターと人間関係

数人で自分の人生を語り合い、周りが質問していく。人生の折れ線グラフや影響を受けた人物について語ることで、互いの人生を語り合うような関係を作っていくことにより、人間の暖かさを感じることがとても大事であるが、AI としては限界がある。

話をわかってもらうための工夫

特によく聞くのが、「話さなくてもわかってほしい」という女性の方である。これは無理であり、話を聞いてもらうには努力が必要。性別に関係なく、話を聞いてもらうには、「ちょっと聞いてほしいことがあるんだけど」「いつならいい？」という２つの言葉が大事である。

心の安全基地の提供

カウンセラーは、そばにいるだけでホッとできる環境を提供する。イライラしているカウンセラーには何の価値もない。イライラしたら一旦離れ、穏やかになったら接する。カウンセリングの場は、そばにいるだけでホッとできる「心の安全基地」である。

カウンセリングの意味

カウンセリングの最大のテーマは、これが自分の人生なのだと心から納得して引き受けていけるということである。

私たちは誰にも話せない悩みを抱えている。「その時に、この時間、この場所で、この人にだけ話せる」、そういうテーマをみんな抱えてきている。そういう場所を提供するだけでも、カウンセリングはすごく大きな意味がある。その場で大事なことは、ただ寄り添ってそのまま聞くことである。「その時に、この時間、この場所で、この人にだけ話せる」という存在は AI では無理で、生身の人間でないと無理だということである。

傾聴の種類と区別

傾聴には種類があり、それを使い分けていくことが重要である。

まず「ケアの傾聴」は、保健室の先生のように、相手に寄り添いながら距離を保って話を聞く。カウンセリングでいうと１回目、２回目、３回目の途中までの面接序盤にもこの傾聴が必要で、深く入り過ぎずに安心感を養っていくことが大事である。

次に「セラピーの傾聴」は、3 回目以降の傾聴に対して、プロセスアセスメントに基づき「アタッチメント志向の傾聴」、「ターゲット志向の傾聴」、「変容プロセス志向の傾聴」の３つに分かれる。

「アタッチメント志向の傾聴」は孤独を癒す深い傾聴であり、「ターゲット志向の傾聴」は認知行動療法やブリーフセラピーに適した浅い傾聴である。学校の場合は「ターゲット志向の傾聴」で、スクールカウンセリングでは浅く傾聴を行う。

「ロジャーズの傾聴」と「寄り添う傾聴」との違い

「寄り添う傾聴」は距離を保って外から寄り添うのに対して、「ロジャーズの傾聴」は、クライアントの心の中の深いところに入っていく。

初回から３回目までは「寄り添う傾聴」が必要である。いきなり、ロジャーズの「深い傾聴」をやられたら、クライアントは怖くて逃げ出してしまう。しかし、「寄り添う傾聴」を続けるだけでは浅く、クライアントは離れてしまう。

ロジャーズは、「深い傾聴」でクライアントの心が映し出されている鏡になることが大事であると言っている。

諸富祥彦先生プロフィール

1963 年福岡県生まれ。

1986 年筑波大学人間学類、1992 年同大学院博士課程修了。英国イーストアングリア大学、米国トランスパーソナル心理学研究所客員研究員、千葉大学教育学部講師、助教授（11 年）を経て、現在、明治大学文学部教授。教育学博士。

世界を変えるため、時代の精神（ニヒリズム）と「格闘する思想家・心理療法家」（心理カウンセラー）。

日本トランスパーソナル学会会長、 日本カウンセリング学会理事 、日本カウンセリング学会認定カウンセラー会理事、日本教育カウンセラー協会理事。

教師を支える会代表、現場教師の作戦参謀。

臨床心理士、公認心理師、学会認定カウンセリング心理士／スーパーヴァイザー、ガイダンスカウンセラー / スーパーヴァイザー、上級教育カウンセラー、学校心理士／スーパーヴァイザーなどの各資格を持つ。

日本生徒指導学会理事、日本スピリチュアルケア学会理事、日本心理臨床学会代議員

神奈川支部の

新しい幹部の皆さんを紹介します！

第20回支部総会において、新しい運営幹部の皆さんが選出されました。

新幹部の皆さんに1期2年に向けての目標、意気込み、趣味などについてお聞きしました。

支部長　新任

山王（さんのう）　泰彦（やすひこ）さん

支部長を拝命した山王と申します。

趣味は映画鑑賞。旅行、神社巡り等。猫と麺類をこよなく愛しております。

会員の皆様のお知恵とお力をいただきながら神奈川支部をより伸長させて行きたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

副支部長　新任

牛丸（うしまる）　尚美（なおみ）さん

3期6年の養成講座部長を終え、今年度より少し違う視点から養成講座を考えて行動していきたいと思います。社会も組織も、そして働く人も変化・進化している今、養成講座や実技指導者も進化していきたい。誰しも変わることに不安はつきものですが、支部一同で勇気を持って取り組みたいと思います。

副支部長

石田（いしだ）　知之（ともゆき）さん

前期より引続き副支部長に就任しました石田知之です。今期は新任支部長及び事務局長のサポートと講座運営チームサポートの役割を果たして、安定した支部運営に貢献していきたいと考えています。また、本部及び支部キャリアコンサルタント養成事業への一層の貢献もしていきたいと思っています。宜しくお願いいたします。

支部事務局長　新任

中島（なかじま）　祐一（ゆういち）さん

初めまして、今年の6月1日に事務局長として就任しました。支部の運営に携わってまだ半年程の新米ですが、神奈川支部の運営が円滑に進むよう努力して参りたいと思いますので、皆様からのご指導、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

私の趣味は、美術館やギャラリー巡りで、最近は下手の横好きで、自ら山水画を描いています。

総務部長

倉地（くらち）　俊春（としはる）さん

「JAICO神奈川ライブラリー」の自称館長を務めております。会員の皆様が関係知識をより深めていただけるよう、ライブラリーをぜひ積極的にご活用いただき、学びの場として親しんでいただけたら嬉しく思います。また、神奈川支部活動にも楽しくご参加いただけるよう、日々工夫を凝らしながら取り組んでまいります。

会員部長

青木（あおき）　幸司（こうじ）さん

会員部長として3期目を迎えました。先般実施した会員満足度アンケートでいただいた会員の皆様からの声を踏まえて、様々な情報提供や交流の場づくりを企画していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。趣味は北海道旅行です。

養成講座部長　新任

亀井三貴子（かめいみきこ）さん

養成講座部部長の亀井です。どうぞよろしくお願いします。産業カウンセラー養成講座が傾聴力を習得できる魅力ある講座と実感して頂けるよう実技指導者一丸となって取り組んで参ります。研鑽を続けていらっしゃる会員の皆様、毎年初夏に実技指導修習生研修希望者審査を実施していますので、HPをチェックしてみてください。

神奈川支部の
新しい幹部の皆さんを紹介します！

キャリアコンサルタント部長　新任

上藤（かみふじ）　彰子（あきこ）さん

キャリアコンサルタント部の部長となりました、上藤彰子です。キャリアコンサルタント養成講座と更新講習に力を入れていくと同時に、今の社会情勢に対応できるキャリアコンサルタントとして活動できるよう、CC 交流会等の場で情報を提供したり、ディスカッションの場を設けていきます。どうぞよろしくお願いします。

シニア産業カウンセラー部長　新任

野田三貴子（のだみきこ）さん

これまで DV 相談や女性支援、人を支える相談業務に携わってきました。

この経験を活かし、風通しの良い雰囲気の中で、安心して学び合い、交流しながら共にスキルアップできる場づくりに貢献していきたいと思います。

趣味は手芸とスキューバダイビングです。

研修部長　新任

要（かなめ）　夏樹（なつき）さん

研修部 部長を拝命しました要 夏樹と申します。私は普段、商社で会社員をしながら男の子 2 人のパパ、神奈川支部では研修部の部長、そして最近は“お部屋も心も整える”をテーマに整理収納アドバイザー（1級）としても活動し、パラレルキャリアを実践しています。どうぞよろしくお願いいたします。

相談事業部長　新任

眞砂亜矢子（まさごあやこ）さん

相談事業部として、働く方の心の健康に貢献できる支援を目指していきたいと思っております。

社会の変化と多様な課題に対応するため、カウンセラーのみなさんのスキルアップと連携体制の強化に努めてまいります。

地域連携委員長　新任

高野（たかの）　大輔（だいすけ）さん

地域連携委員長を拝命いたしました。高野と申します。地域連携委員会では現在、「傾聴実践プロジェクト（高齢者施設訪問）」、「高校模擬面接プロジェクト」、「ドリームプロジェクト（ワークショップ）」を運営しております。実践を通した更なるステップアップの場として、参加しやすい雰囲気作りを目指して参ります。趣味は鉄道旅行と温泉巡りです。

講師・カウンセラー推薦委員長／審査委員長

吉良ゆみ子（きらゆみこ）さん　新任

講師・カウンセラー推薦委員長／審査委員長を拝命しました吉良ゆみ子です。新規登録審査の応募が増えるように、いろいろなことにチャレンジできればと思っています。会員の皆様、支部運営の皆様のお力を頂きながら、神奈川支部が益々躍進できるように頑張りますので宜しくお願い致します。

支部監事

加地（かじ）　清美（きよみ）さん

私は、支部監事を再び今後 2 年間務めさせていただくことになりました。監事の職務は、支部の業務ならびに財産および会計について、運営幹部の職務執行を監査することで、2 年任期の目標は、変化の著しい社会情勢の中で、支部会員の皆様の意見を反映し、支部活動をいかに皆様にとり意味あるものにするかです。私の日常はカウンセリングの仕事が中心ですが、自由な時間は自然に親しんだり絵画や音楽でリフレッシュしております。

支部監事　新任

粟竹愼太郎（あわたけしんたろう）さん

新たに支部監事に任命されました、粟竹愼太郎（あわたけしんたろう）です。

お役に立てるかどうか分かりませんが私なりにＪＡＩＣＯは今まさに大きな変革を必要としていると思っていますので、支部の運営について観ていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

これから開催される おススメの 研修講座 をご紹介します！

暦の上では秋がやってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
学びの秋にふさわしい講座をご用意しておりますので皆様のご参加をお待ちしております。

集合研修 カウンセリング・ドリル
～実際にカウンセリングを体験し、スキルアップを目指しませんか～

開催日時　2025/9/27（土）　13:00 ～ 16:30
講師　竹之内　裕一
講座概要　「カウンセリングの経験を積みたい」「資格取得後の次のステップがわからない」「感覚を取り戻したい」方へおすすめの少人数制実習講座です。4 人リレー形式で各自 10 分面接を行い、他の 2 チームは観察して学びます。

集合研修 事例からやさしく学ぶ森田療法（全 2 回）

開催日時　2025/10/5（日）、10/19（日）（全 2 回）　9:30 ～ 16:30
講師　横山　博
講座概要　森田療法は、不安症・気分症・強迫症などに、きわめて有効な治療法ですが、「神経症の症状がなくなったから人生観、つまり生き方や生きる構えが変わったのではなく、人生観が変わったから症状が気にならなくなった」という森田の言葉通り、単なる対処療法ではありません。
　本来、人間にとって自然なものである、恐怖・不安・心身の不快な反応と抗争し、取り除かなければならないとする、硬直した心の態度や認識のあり方から、人間の心の事実や自己のありのままを信頼する生き方に転回し、心の自然に委ねた柔軟で自在なあり方が、おのずと体現するように導く治療です。
本講座では、多くの事例を通して、この治療の全容を悩みの当事者目線で、やさしく学びます。

集合研修 大人が楽しめる箱庭（2 回コース）

開催日時　2025/11/1（土）、12/6（土）（全 2 回）　9:30 ～ 12:30
講師　伊藤　とく美 / 佐藤　久美子
講座概要　ユング心理学を源に持つ箱庭という道具を利用して心理的体験を気軽に楽しんでいただく体験講座です。3 台の箱庭を 1 人 30 分程度で付置して頂き、感想のシェア、受容的なフィードバックを通して自身の内面を見つける手助けとなります。

集合研修 うつ、メンタルを 16 時間で大幅改善に導く、脳科学心理療法　入門編

開催日時　2025/9/13（土）　9:30 ～ 16:30
講師　山本　潤一
講座概要　なぜ、うつやメンタル不調が起こるのかはまだ解明されていません。そのため、解決方法も複雑です。筑波大学名誉教授・宗像恒次博士が開発した手法により、脳のストレス状態を数値化して問題を改善しています。この革新的な手法について学び、体験してみてください。

集合研修　交流分析 ベーシック（全 6 回）

※シニア育成講座「No.3 ＴＡ（交流分析）」受験要件に該当します

開 催 日 時　2025/11/2（日）、11/15（土）、12/7（日）、12/21（日）、2026/ 1/11（日）、1/25（日）（全 6 回）9：00 ～ 17:00

講　　師　岩井　昌江

講 座 概 要　日本交流分析協会との提携により開催する講座です。

交流分析は、各種心理学の最もベースになるものでカウンセラーとして是非とも熟知しておきたい理論です。この講座ではノンクリニカル（医学治療以外の領域）の立場から 7 つのジャンル全てを 4 2 時間で履修します。修了後は日本交流分析協会の「交流分析士 2 級」の受験資格も得られます。「人の心理と行動」「自己への気づき」を中心に、楽しい進行で毎年定評があり、他支部からの参加者も多いのが特徴です。担当講師は講師歴 29 年、様々な分野で企業研修の実績を積んできた講師です。カウンセリングの現場や研修の中でどう生かしていけるかのヒントも交えて有意義な講座をお届けします。欠席した場合の補講も考慮されています。

オンライン開催　グリーフケア基礎講座　～哀しみに寄り添うために～

開 催 日 時　2025/11/8（土）　13:00 ～ 16:00

講　　師　井手　敏郎

講 座 概 要　グリーフとは死別などの喪失体験による悲嘆反応（心や身体などに起こる状態）のことをいいます。大切な人を失う経験は人生に大きな影を落とすことがあります。哀しみがやわらぐまでに時間がかかり、誰かの支えが必要になることもあるでしょう。死別に関わらず病気、災害、離職、これからやってくる大切な人との別れを感じることで大きなグリーフを抱くこともあります。喪失の痛みを抱えた方の心身の変容についての基本的な知識や理論などを通して適切な関わり方を学んでいただく講座です。

オンライン開催　青木羊耳先生の講師塾 -2（全 5 回）

開 催 日 時　2025/11/16（日）、12/21（日）、2026/1/18（日）、2/15（日）、3/15（日）（全 5 回）13:00 ～ 16:30

講　　師　青木　羊耳

講 座 概 要　産業カウンセラーが講師を目指す際の心構えと手順について実体験を交えて紹介します。また、キャリア形成の課題とその対処法も一緒に考えましょう。

集合開催　ほんものの傾聴を学ぶ！集中トレーニングコース（全 2 回）

開 催 日 時　2025/12/13（土）、12/14（日）（全 2 回）　9:30 ～ 16:30

講　　師　諸富　祥彦

講 座 概 要　ロジャーズの深い傾聴技術を学びましょう。過去の技術を見直し、さらに向上させる絶好の機会です。この 2 日間のトレーニングは、実技指導者にも有益で、傾聴技術を磨くことができます。

お申込みはこちらから

https://kanagawa.counselor.or.jp/skillup/koza-seminar/

CONTENTS

2 会員満足度向上を目指し、時代に適合した事業を展開します！
―第20回神奈川支部総会　開催―
4 特別講演会　諸富祥彦先生講演要旨
6 神奈川支部の新しい幹部の皆さんを紹介します！
8 これから開催されるおススメの研修講座をご紹介します
10 会員部からのお知らせ　はまカフェ開催報告　／　編集後記

かもめ便り
2025年9月
第71号（通算第117号）

発行日：2025年9月10日発行
発　行：一般社団法人日本産業カウンセラー協会　神奈川支部
〒231-0062　横浜市中区桜木町3丁目8横浜塩業ビル6F
TEL：045（264）9521　FAX：045（264）9013
E-mail：kng-zensya@counselor.or.jp　URL：https://kanagawa.counselor.or.jp
企画・編集：会員部支部報グループ
取材編集協力：株式会社ココラボ

会員部からのお知らせ

―会員の情報交換の場「はまカフェ」は2か月に1回開催しています―

多様な視点から活発な議論が展開

2025年7月28日19：00より、6名の参加のもと、オンラインで開催しました。

今回のテーマは、「定年前後社員のモチベーション低下にどう向き合い、組織の力に変えていくか」です。

企業人事、キャリア研修担当、雇用延長者の多い職場の管理者、ご自身がセカンドキャリアを歩む方など、幅広い立場の参加者が集い、多様な視点から活発な議論が展開されました。

定年前後の社員が抱える“揺らぎ”には、さまざまな要因が絡むことから、社会構造の変化や職場環境の変容、部下との関係性の変化、給与と業務内容の不均衡、さらには健康や老後の経済的不安などの課題が出されました。

これらの課題に対して、「カウンセラーとしてどう支援するか」「どのように関係を築くべきか」を深く掘り下げ、具体的な支援のあり方を考えました。モチベーションの低下を単なる問題として捉えるのではなく、個々の経験や価値観を尊重しながら、それを“組織の力”に変えていく可能性があることを共有できた場となりました。

参加者のコメント

- 自分には無い視点のお話が聞けた。
- 自分の視野が広がったように感じる。同じ出来事でも自分の受け取り方や解釈が変わっていきやすくなりそう。
- 人との交流・自身の今後のキャリアについて役立つと思う。
- 定年前後の方のカウンセリングや研修を考えるうえで、たくさんのヒントを得られた。
- 自分が持っている考えについて皆さんから意見をもらえた。
- 少人数だったので相互に深掘りしたお話を伺えることができた。
- 共有化することができて本当に有意義な時間を過ごせた。

編集後記

今年の夏は記録的な猛暑となり、40度を超える地域もありました。皆様、体調管理には十分お気をつけください。このかもめ便りが皆様のお手元に届く頃には、少しは涼しくなっていることを願うばかりです。

さて、今号では6月1日に開催された支部総会、特別講演会、会員懇親会について特集しました。

特別講演会では、明治大学文学部教授・諸富祥彦先生をお迎えし、「今の時代だからこそ『ほんものの傾聴』を改めて学ぶ～産業カウンセラーの更なる成長に向かって～」というテーマでご講演いただきました。AIの進化により、カウンセラー業はこれまでにない大きな転換期を迎えています。浅い悩みや話し相手としてのニーズにはAIが対応できるようになってきましたが、「沈黙」を共有することはAIにはできません。人と人との深いつながり、温もりは、AIでは埋めることができないのです。改めて、カウンセラーとしての本質を考える貴重な機会となりました。

また、会員懇親会も昨年に続き開催され、会員同士が直接顔を合わせ、交流を深めることができました。オンラインとは違い、画面越しでは得られない「つながりの実感」が参加者の間に自然と生まれていたように感じました。

最後になりますが、今回の企画や活動にご協力いただいたすべての会員の皆様に心より感謝申し上げます。

（青木幸司）